

主催:NPO法人 日本科学振興協会

◆ イノベーションユースとは

10代の研究マインド・探究心を応援する育成型プログラムです。大学教員などの研究者や科学に関わる様々なプロが、参加者の探求活動を無償でメンタリング(アドバイス)します。

研究計画がまだ十分にできていなくても、「このテーマをもっと深掘りしたい」「こんな社会課題を考えたい」というアイデア段階からの参加を歓迎しています。

探求の成果を競うコンテストではなく、約半年間、参加者の探求活動に伴走して、成長にコミットするプログラムです。最終発表会の表彰では、成果だけではなく、どれだけ成長できたかなどの観点から、未来創造賞、目的実現賞、教育奨励賞など様々な賞を、参加者に授与します。

プログラム修了後の参加者は、東京大学、京都大学、広島大学、海外大学など国内外の各地で活躍しています。



https://jaas.science/lp_iy2025/

◆ スケジュール



◆ メンター 10代の探求活動にアドバイスする研究者・プロ



山吉 麻子
東京科学大学 教授
生体関連化学



大賀 哲
九州大学 准教授
政治学

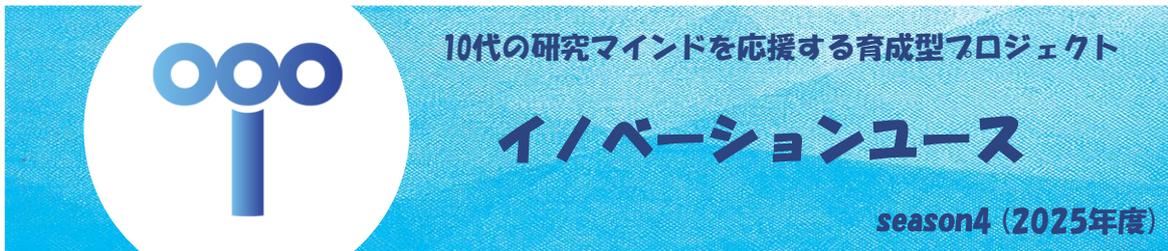


小野 悠
豊橋技術科学大学 准教授
都市工学



越後 巧
ITソリューション会社勤務
社会実装

20名以上のメンターが参加者の探求活動に伴走します。顔ぶれは、上記ウェブページをご覧ください。



◆ 応募方法

右のウェブページのフォームよりご応募ください。その際、以下に抜粋する9つの問いかけに答えていただきます。現状分析、新規性、波及効果などの項目もあります。



https://jaas.science/lp_iy2025/

1. タイトル:あなたが取り組むテーマ/取り組みたいテーマはなんですか？
2. あなたがそのテーマに取り組みたいと思った理由はなんですか？
3. あなたが取り組むテーマはSDGsの17の目標のどれに関連していますか？
4. あなたがそのテーマに取り組むことで、世界はどのように変わるとおもいますか？
あるいは世界をどのように変えたいとおもいますか？

応募の時点で、まずは応募者自身で考えを整理してもらうことを目的としていますが、未熟な状態でも大丈夫です。8月～9月に事前相談会を開催していますので、ぜひご活用ください。開催スケジュールはウェブページをご覧ください。

◆ これまでの参加者のテーマの例

医療

- アレルギー治療を助ける「ちょっぴりタマゴクッキー」
- 女子高生の摂食障害と SNS

工学・環境

- 海から考える地球温暖化対策
- 効果的な人工リーフの形状
- 使い捨てプラスチックを使用しない「食べられる」パッケージ
- より人間にフレンドリーなダンゴムシ型ロボットの構想
- やりたいことを諦めないー視覚補助で全ての人に同程度の安全をー
- 「無色透明な遮光板」で明るい世界を

芸術

- 声に含まれる倍音と聞き手が受ける印象の関係性

社会科学

- 信頼のおける友達が必ずできる大学をつくる
- 貧困・孤立をなくすための子ども食堂
- 部活動と非認知能力の育成
- 中学校における内申点制度に代わる新しい評価制度の研究
- ザンビア共和国のMuke村の学校支援

人文

- 即興型英語ディベートスピーチの研究
- ボードゲームの教科学習における中学校教育現場への導入
- 認知言語学における言葉表現
- 江戸時代の寺子屋・私塾の仕組みを現代日本の教育課程へ導入

文理融合

- 学校におけるより効果的な環境教育
- 視覚情報が感覚に与える影響
- 高等学校における思考の可視化
- 大豆ミートから新食材へ
- 途上国での医療活動におけるデータプラットフォームをつくる